

平成28年度6月定例記者会見 会見録

日時 平成28年6月30日(木)午後3時～3時10分

場所 市役所2階第1特別会議室

(市長)

はじめに、本日、散会いたしました6月定例会議でございます。6月定例会議につきましては、30日間のご審議をいただいたところでございます。提案いたしました、すべての案件につきまして、ご議決をいただきました。議員の方々からは、本会議や委員会の場で、さまざまな意見をいただきました。市といたしましても、しっかりと意見を受け止め、引き続き取り組んでまいりたいと考えております。

次に、「さがみはら防災フォーラム」についてでございます。多くの尊い人命や財産を奪った「東日本大震災」や、「熊本地震」などの災害は、決して他人事ではなく、改めて、災害に備えることの大切さを認識させられたところでございます。

本市では、災害に強いまちづくりを推進するため、平成26年4月に防災条例を施行し、毎年7月第1土曜日からの1週間を、防災週間として定めております。今年の防災週間の初日となる7月2日土曜日には、市民会館におきまして、「自助・共助・近助でつながる 防災都市さがみはら」をテーマとして、「さがみはら防災フォーラム」を開催いたします。フォーラムでは、東日本大震災の被災地である宮城県の村井嘉浩知事をお招きいたしまして、災害対応に生かすことのできる防災知識などを、実体験を交えてお話いただく予定でございます。また、フリーアナウンサーの生島ヒロシさんから、災害時の自助・共助・近助の重要性についてご講演いただきます。ほかにも、市民会館前の広場では、起震車を使用した震度体験や災害救助犬が隠れた人を捜し当てるデモンストレーションなど、ご来場の皆様に、防災について関心を持っていただくためのイベントを実施します。市民の皆様には、いざという時あわてないために、防災フォーラムにぜひ参加いただき、防災意識を高めていただければと思います。

最後になりますが、カナダ・トロント市との友好都市提携25周年についてでございます。本市は平成3年、のちにトロント市と合併したスカボロー市と、友好都市の提携をいたしまして、本年の5月31日で記念すべき25周年の節目を迎えました。

これまで、トロント市とは、教育やスポーツ、経済など様々な分野で交流を深めており、本年4月に、トロント市のジョン・トーリー市長をはじめとする友好訪日団を本市にお迎えした際には、さらなる交流事業の充実に向けた覚書の署名式やトロント市長による議場スピーチ、友好都市提携25周年記念レセプション等を開催いたしました。来月の7月3日からは、古賀副市長や阿部市議会議長をはじめとする友好訪加団がトロント市を訪問いたします。その際、トロント市長への表敬訪問や記念レセプションへの参加、経済団体との意見交換などが予定されております。また、トロント市庁舎におきましては、本市を紹介するパネル展も開催いたしますので、トロント

ト市民の皆様、本市の風土や魅力を改めてお伝えできればと思います。こうした、様々な記念行事を通じまして、これまで築いてきた両市の絆をより確かなものとし、今後の交流事業の充実につなげていきたいと考えております。

私からは以上でございます。

(記者)

古賀副市長がトロント市へ訪問される際に、旅費はどの程度かかるのでしょうか。また、飛行機の座席のクラスを教えてください。

(市長)

本市の職員の旅費につきましては、特別職も含めまして「相模原市職員等の旅費に関する条例」により定められております。条例の規定により、飛行機の座席につきましては、古賀副市長はビジネスクラス、副市長に同行する市職員4名につきましてはエコノミークラスの利用となります。また、宿泊料につきましても、条例に規定されております金額の範囲内での宿泊先を選定し、1泊で1万8千円のホテルに宿泊する予定でございます。市議会を含めた旅費の総額は、概ね300万円です。

(記者)

市議会議長についても飛行機はビジネスクラスの利用なのですか。

(渉外部長)

ビジネスクラスの利用です。

(記者)

市議会では、何名訪問されるのですか。

(渉外部長)

市議会からは、市議会議長と随行の職員1名の計2名です。

(記者)

今回、市長はトロント市を訪問されないのですか。

(市長)

私は、これまでも訪問させていただいたことがありますので、できるだけトロント市での交流事業に参加したことの無い職員を訪問させたいと考えております。多くの職員が国際交流事業に携わることで視野を広げてもらいたいと思っておりますが、次の機会があれば私も行きたいと考えております。

以 上